

①ミュージアム・コンサート「華麗なるオペラアリア」

展示室を会場に、『アイダ』をはじめとしたオペラの名曲をお楽しみください。
日時：8月11日(土)14:00～14:40
出演：川島沙耶(ソプラノ)、前田朋子(ピアノ)
会場：本郷新記念札幌彫刻美術館 本館

②講演会「新国立劇場 オペラの舞台裏」

華麗さを誇る新国立劇場の『アイダ』。その世界が舞台上に生み出されるまでの道のりを、技術監督の目から語ります。
日時：9月8日(土)11:00～12:30
講師：小西弘人(新国立劇場 技術部技術総括室長、テクニカルディレクター)
会場：本郷新記念札幌彫刻美術館 本館・研修室

③講演会「華麗なる衣裳、光の不思議な力 ～巨匠マリアノ・フォルチュニと舞台芸術～」

絵画・写真・照明・テキスタイル・服飾デザインの分野で革新的な才能を発揮したマリアノ・フォルチュニ。その多才な創造力が、リヒャルト・ワーグナーの提唱する総合芸術としての舞台づくりに結集した！
日時：10月6日(土)14:00～15:30
講師：ブルース・ダーリング(美術史家)
会場：本郷新記念札幌彫刻美術館 本館・研修室

④ギャラリー・トーク

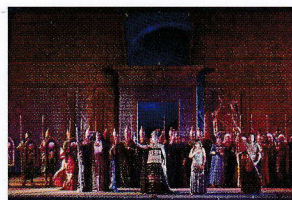
展覧会担当職員が、展示室をめぐるながら見どころを解説します。
日時：9月23日(日祝)、10月14日(日)11:00～11:30
会場：本郷新記念札幌彫刻美術館 本館



新国立劇場

東京都渋谷区本町1丁目1番1号

オペラ、バレエ、ダンス、演劇等の現代舞台芸術を公演するための劇場として、1997年10月にオープンしました。オペラ劇場、中劇場、小劇場の三つからなり、多彩な舞台転換を可能とするなど様々な工夫を凝らした演出を楽しむことができます。



写真：ローマ歌劇場提供

札幌文化芸術劇場 hitaru

札幌市中央区北1条西1丁目 札幌市民交流プラザ

全2,300席、北海道初の多面舞台を備えた、大規模オペラ、バレエ、ミュージカル等にも対応する札幌文化芸術劇場 hitaruが2018年10月に開館。この劇場のこけろとし公演として、オペラ『アイダ』を上演いたします。

記念館にもぜひお立ち寄りください

本館に隣接する記念館は、彫刻家・本郷新が東京で活躍する傍ら故郷に建てたアトリエです。本郷が手がけたスケールの大きな野外彫刻の石膏原型や、ブロンズ、木彫、テラコッタなどの代表作のほか、制作道具、家具などを常設展示。かつの邸宅の雰囲気のなかで、本郷新の芸術とその制作の息吹にふれることができます。

開催中の展覧会 本郷新、その生涯と作品

彫刻家・本郷新の生涯を通じた作品制作の多様さを示す彫刻や油絵画、デッサンなどを紹介します。



交通アクセス

- 公共交通機関をご利用の場合
地下鉄東西線「西28丁目」駅バス
ターミナル2番のりばから山の手線
循環西20乗車(約5分)、「彫刻美
術館入口」下車、徒歩約10分
- お車をご利用の場合
市内中心部より約15分、無料駐車
場あり

本郷新記念札幌彫刻美術館

Hongo Shin Memorial Museum of Sculpture, Sapporo

〒064-0954 札幌市中央区宮の森4条12丁目
TEL 011-642-5709

<https://www.facebook.com/inmyroomsapporochobi>

<https://mobile.twitter.com/sapporochobi>

★最新情報はフェイスブック、ツイッターからどうぞ。

割引チケット

この券をご持参の方は下記の通り割引いたします。(1枚につき4名様まで)

一般 600円→500円

65歳以上 500円→400円

高大生 400円→300円

オペラの衣裳と舞台美術

Costumes and Theatre Arts of Opera - the Brilliant world of "Aida"

Costumes and Theatre Arts of Opera - the Brilliant world of "Aida"

煌く「アイダ」の世界

オペラの
衣裳と舞台美術

市民交流プラザ開館記念連携事業

東京
新国立劇場
から

2018.7.27(金) - 10.25(木)

開館時間 午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
休館日 月曜日 ただし、9/17(月祝)、9/24(月振)、10/8(月祝)は
開館し、9/18(火)、9/25(火)、10/9(火)は休館
観覧料 一般 600(500)円、65歳以上 500(400)円、
高大生 400(300)円、中学生以下無料
※()内は10名以上の団体料金

主催／本郷新記念札幌彫刻美術館(札幌市芸術文化財団)
後援／北海道、札幌市、札幌市教育委員会

特別協力／新国立劇場

本郷新記念札幌彫刻美術館

Hongo Shin Memorial Museum of Sculpture, Sapporo



王と王女の玉座

宝石を模して装飾された背もたれのある赤い布張りの椅子

エキゾチックな旗

物語の山場、凱旋のシーンを印象づける半円形の旗

アイダの衣裳

エジプト王女の奴隷にして美しいヒロインの繊細な衣裳

神官ランフィスの衣裳

物語のカギを握る厳格な神官の荘厳な衣裳

2018年4月公演より
撮影：寺司正彦

新国立劇場オペラ公演『アイダ』より第2幕第2場の凱旋のシーン。

アイダやアムネリスのドレス、王の玉座…

それぞれのシーンを演出する舞台美術や衣裳、約50点が一堂に。

Costumes and Theatre Arts of Opera - the Brilliant world of "Aida"

絢爛豪華なアイダの世界を美術館で！

舞台を彩る美しい造形があなたの目の前に。

ステージ上で堂々たる演技を披露する出演者たち。彼らを舞台の主役とするならば、周りを取り巻く衣裳や舞台美術は、オペラを支える名脇役と言えるでしょう。美しくきらびやかな衣裳や本物と見まがうような小道具は、それぞれの劇場の個性を際立たせ、観る者を異世界へと誘う大切な要素です。

今年10月、北海道初となる多面舞台を備える札幌文化芸術劇場「hara」が誕生。これから落し公演『アイダ』を皮切りに、これまで北海道では実現が難しかった大規模オペラやバレエなどが上演されます。舞台芸術をますます身近なものとする札幌文化芸術劇場の開館を記念して、総合芸術であるオペラの美術の側面に光をあてた展覧会を開催します。

古代エジプトを舞台にしたオペラ『アイダ』といえば、どの歌劇場でも大掛かりな舞台が見どころです。本展では、世界でも有数の華やかさを誇る東京・新国立劇場の絢爛豪華な衣裳と舞台美術を中心に紹介します。これらは全て1998年の新国立劇場開場記念公演の際に、巨匠フランコ・ゼッフィレリ氏の指示のもと、イタリアの工房で製作されました。普段は速く客席からしか見ることのできない品々を、細部のこだわりまでじっくりと間近にご覧いただけます。

新国立劇場を知る

日本の舞台芸術の最前線に立つ新国立劇場。その公演の幅広さと、感動の舞台を作り上げる技術力を映像とともに紹介します。王女アムネリスと王の衣裳や玉座、3メートルを超える迫力ある神像などを展示。

オペラ『アイダ』の衣裳と舞台美術

2F展示室
要観覧券

オペラや『アイダ』に関する解説と、舞台で実際に使われる品々、40点以上を展示。古代エジプトの世界を演出すべく考え抜かれた衣裳は、生地や素材や装飾品の違いによって役柄の特徴が表され、観る者を飽きさせません。古めかしい石壁を模した壁画には象形文字が刻みこまれ、その時代の神殿を彷彿とさせます。

新国立劇場の『アイダ』

巨匠フランコ・ゼッフィレリの華麗なる演出・美術・衣裳

世界中で人気のオペラ『アイダ』は、古代エジプトを舞台にした悲恋の物語。オペラは劇場によって演出が異なります。なかでも新国立劇場で1998年に初演された『アイダ』は、舞台演出家、映画監督として名高いフランコ・ゼッフィレリによる豪華な衣裳と舞台美術で人気を博しています。古代エジプトの遺跡を思わせる壁画や像の中には、細部に至るまで妥協を許さないゼッフィレリの手により、色を塗り直されたというエピソードをもつ品々もあります。